

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
保育実習 I (保育)	1	後期	実習	4	呉屋 奈都子

○授業の到達目標及びテーマ

- ・ 児童福祉施設や保育所の役割、機能について具体的に理解している。
- ・ 子ども理解、子どもへの保育及び保護者支援について総合的に理解している。
- ・ 自主実習から得た学びと課題から、具体的な自らの行為・行動、言葉掛けを明確にする。
- ・ 園での一日の流れを通しながら、子どもの人権を保育環境の中で具体的に理解している。
- ・ 保育の内容、計画、観察、記録及び自己評価について具体的に理解している。

○授業の概要

児童福祉施設や保育所の生活を観察、参加しながら、各施設の役割と機能、保育士の業務内容について学び、子どもとの関わりを通して子ども理解を深める。事後指導から、自己評価を行い、今後の課題を生かした保育計画の立案、記録等について理解する。

【事前学習】

- ・ 保育所と幼稚園との違いについて調べ、0歳の生活の一日の流れについて考察する。
- ・ 保育のねらいについて調べ、子どもを理解する上で、大切なことをノートにあげる。
- ・ 子どもを観察する時のポイントをノートに具体的にあげ、2歳児クラスの大きな自立に向けての事柄を3つ調べ、人的保育環境で危機管理の上で大切なことをまとめる。
- ・ 指導計画を立てる際の一番大切にすべき点を考察し、各クラスの月齢が遅い園児への配慮点をノートにまとめ、遊びに集中できる環境をノートにまとめる。午睡の意味について考察し、保育士の役割と職業倫理についての関係性を理解する。

○授業計画

(保育所実習の内容)

- 1 自主実習の評価を振り返る中で、保育所の役割と機能を理解し、保育所における生活と一日の流れについて理解し、保育所保育指針に基づく保育の展開について理解する。
- 2 子どもの人権を尊ぶことから始まる子どもの理解と子どもの観察とその記録により、守秘義務の観点からの子どもを理解する。
- 3 子どもの発達過程についての理解と実習課題との関係性を理解すると同時に、子どもへの援助や関わり方について学ぶ。
- 4 保育内容・保育環境（人的・物的）への俯瞰的視点への理解と、保育の計画に基づく指導計画及び評価について理解する。
- 5 子どもの発達過程に応じた保育内容についての理解しながら、子どもの生活や遊びと保育環境について学び、子どもの健康と安全への配慮について理解する。
- 6 保育の計画・観察・記録の着眼への理解と職員間の役割分担や連携について学ぶ。

【事後学習】

- ・ 保育所に子どもを預けている保護者への支援で大切なことを学びながら、1歳でおこりやすいトラブルについてノートにまとめる。
- ・ 児童憲章について考察することで、子どもを理解する時の具体的な言葉掛けを学ぶ。記録を振り返り、課題を考察しながら、特に睡眠時の際に気をつけなくてはならない事柄を考察する。
- ・ 自分から来ない園児への声掛けについて具体的に気づけたかをまとめる。

- ・ 0歳児の保育で大切な物的環境を具体的に理解する。
- ・ 評価においてどのような視点が要であるか、また、子どもの肯定感をあげる声掛けを具体的に学び、遊びの連続性を大切にできる保育環境や、お散歩の安全への配慮事項を具体的に理解する。
- ・ 地球人としてSDGSを鑑みた指導計画案を立て、小学校理科や総合学修への倫理的視点を理解する。
- ・ 職員間の要になる同僚性や具体的事柄について、報連相の体得や記録に基づく省察と、自己評価をノートにまとめ、フィードバックして上手くいかなかった経験を修正し、次に活かせる準備をしておく。

○テキスト

『これからの時代の保育者養成・実習ガイド』大豆生田啓友 渋谷行成 鈴木美枝子 田澤里喜 中央法規  
『こどもの権利を大切にする保育』関山浩司 中央法規

各講座に適した絵本

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版)文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版)厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○学生に対する評価

実習園からの評価60% 実習記録などの提出物40%